

# 海外や五島での経験に基づく 漁業協調・地域協調等の在り方について

## 地域や漁業との共存共栄

一般社団法人 海洋エネルギー漁業共生センター

渋谷 正信

(潜水士)

Marine Renewable Energy Fisheries



**今から49年前  
甕島にあった潜水学校を卒業  
以後、約48年間  
日本の海、海外の海を潜い続けてきた**



**縁あって**

**長崎に行くようになり、**

**そこで、**

**日本で初めての洋上風力に出会い、**

**漁業との共生・協調に取り組むことに**



# 本日のテーマ

1. 自己紹介
2. 日本の海はどうなっているのか
3. 海外の海洋（再）エネルギーはどうなっているのか
4. 長崎の海洋エネルギー漁業共生センターの活動
5. 活動から見えてきているもの

# 地球の海をフィールドに潜水活動48年



潜水時間4万時間

# 海の資源

1. 海底の石油ガス・鉱物資源

2. 水産資源（魚介類）

3. 海の資源として注目されているもの

1) 海の風資源 → 洋上風力発電

2) 海の流れ資源 → 潮流発電

3) 海の波の資源 → 波力発電

A light blue map of Japan is shown in the background, divided into prefectural boundaries. A white rectangular box with a thin black border is centered horizontally across the map, containing the title text. The text is in a bold, blue, sans-serif font with a slight drop shadow.

# 日本の海の現状

調査して見えてきたことは  
かつて豊かに繁い茂っていた  
海の中の海藻(=藻場)が  
加速度的に減少・消失していたこと



磯焼け  
(海の砂漠化)

# 神奈川県江ノ島の磯焼け

2017年1月



2019年1月



海の中の海藻は、

魚の産卵場所、

幼魚のかくれ場所

幼魚の生育場(工サ場)



海の中の海藻はきわめて重要

日本の海は沿岸の海藻がなくなり

食物連鎖の基礎である植物性

プランクトンが減少



魚介類の産卵、幼魚の育つ場が

消えている。

ヨーロッパでは、  
海洋再生可能エネルギーの  
建設を行っているが、  
その海中部の生態系や漁業は  
どうなっているのか

12年前からヨーロッパへ

デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、  
ドイツ、オランダ、フランス、イギリス、  
スコットランド、スペイン、アメリカ、  
各国の海洋(再)エネルギーの現場へ

# オランダ・イマーレス研究所の リンデブーム博士と



イーメック  
**EMEC**

ヨーロッパ海洋エネルギーセンターのある

**イギリス・オークニー諸島**

# オークニー島での漁業は どうなっているのか

# オークニー島での 漁業者とのミーティング



# ホタテのサイズを測る



ホタテの漁獲  
サイズは  
10cm以上と  
法で決められて  
いる。

# しかし、漁業者は12cm以上に自主的に規制



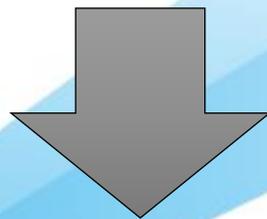
ホタテが卵を産んでくれるから

# オークニー島のエビ・カニ漁の老漁師



50年間、漁獲量は変わっていない

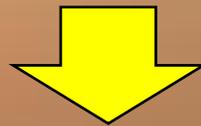
# 海洋発電のさかんな ヨーロッパの海をみてわかったことは



**ヨーロッパの海は日本の海ほど  
荒れていないということ、  
海藻も多いし、魚も多い**

# 長崎県五島

海洋再生可能エネルギー  
と  
漁業との共生・協調モデルづくり



水産振興と地域振興

Copyright © 2016 Marine Renewable Energy Fisheries INC. All Rights Reserved

五島では浮体式洋上風力発電の実証事業が行われた

五島での洋上風力発電と  
漁業との共生の可能性はあるのか

8年前より洋上風力の海を調査

**調査の結果は、**

**予想をはるかに超える成果がありました**



**洋上風力発電の  
事業ファームができれば、**

**同時に  
大漁場が出来上がる  
可能性あり**

# 今後のテーマは 海に洋上風力を設置するからには

電気を発電するだけでなく

◎漁業が豊かになる

◎地域が豊かになる

◎海の環境が良くなる

仕組み  
づくり

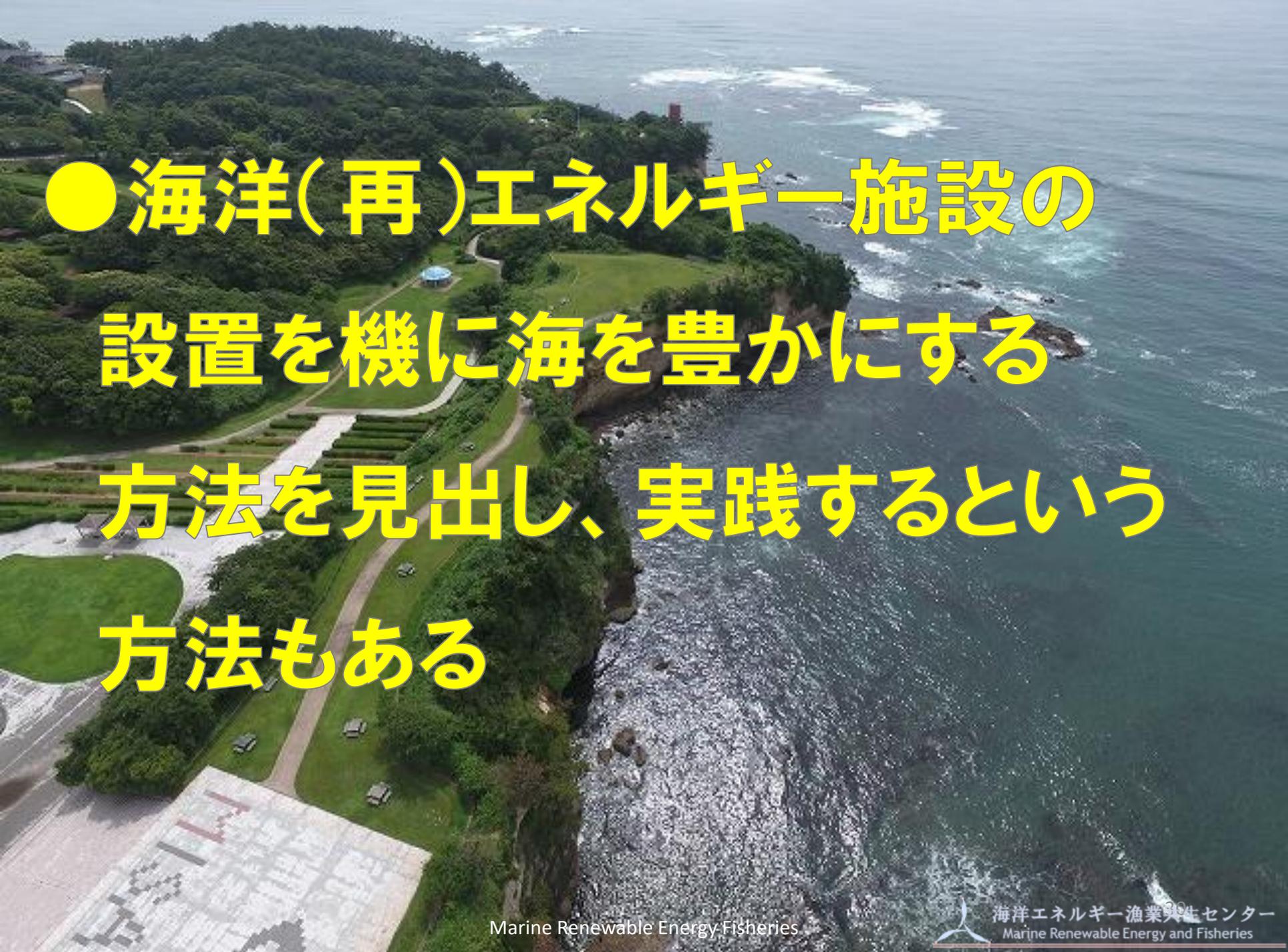
# 仕組みづくりのポイント

1. 事前の漁業環境調査(重要)
2. 受け身ではなく前向きに取り組める人材の確保
3. 地域が一体となる
4. 海の見える化



# 長崎 五島でみえてきたこと

- 海洋(再)エネルギー施設を海に入れると漁ができなくなる  
漁獲量が減るといいう  
考え方もありますが

An aerial photograph of a coastal area. On the left, there is a green golf course with a paved path and a small blue-roofed building. In the foreground, there is a large paved area with a grid pattern. The coastline is rocky, and the ocean is visible on the right side with some waves. The text is overlaid in large yellow characters.

●海洋(再)エネルギー施設の  
設置を機に海を豊かにする  
方法を見出し、実践するという  
方法もある

**もし、  
洋上風力を自分たちの海に  
設置するようでしたら**

**洋上風力をテコにして  
海を豊かにする方法を見つけ  
50年、100年続く地域や漁業にする。**

**ご清聴ありがとうございます。**

**株式会社 渋谷潜水工業  
(一社) 海洋エネルギー漁業共生センター**

**渋谷正信**